

第2回 築上町立小中学校適正配置基本計画検討会議（全体会議）会議録

開催日時	令和6年2月26日（月）18:00～19:10	開催場所	築上町中央公民館 大ホール
出席者	[委員] 34名（欠席10名） [事務局] 7名 [傍聴者] 11名		
学校教育係長	<b>1.開会</b> ただいまから第2回築上町立小中学校適正配置基本計画検討会議を開会致します。本日の進行を務めさせていただきます、築上町教育委員会 学校教育課 学校教育係長の岡部と申します。それでは、次第に沿って進行させていただきます。		
学校教育係長	<b>2.教育長あいさつ</b> 次第2 教育長あいさつでございます。築上町教育委員会 教育長 久保 ひろみから皆さまにご挨拶を申し上げます。		
教育長	[教育長あいさつ（略）]		
学校教育係長	<b>3.築上町長あいさつ</b> 続いて、次第3 築上町長あいさつでございます。築上町長 新川 久三から皆さまにご挨拶を申し上げます。		
町長	[町長あいさつ（略）]		
学校教育係長	それでは、次第4に移る前に、次第4、次第5の進行役として座長の指名を行いたいと思います。築上町立小中学校適正配置基本計画検討会議開催要綱第6条第2項の規定に基づき、中村 信雄委員を座長に指名致します。中村委員、よろしくお願いいたします。		
座長	本日の進め方ですが、次第4、5について、学校教育課から説明後、小学校、中学校、それから保育園の代表者の方にご意見頂きたいと思います。椎田中学校区が終わりましたら築城中学校区にいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。		
座長	<b>4.「中学校区部会」について</b> それでは、次第4、中学校区部会について、説明をお願い致します。		
学校教育課長	学校教育課の鍛冶でございます。中学校区部会につきましては、昨年の末、本当にお忙しいところ委員の皆さまには御出席を頂きましてありがとうございました。 まず、12月18日に開催しました築城中学校区部会について、19名の委員のうち16名の委員の皆さまの御出席を頂いたところでございます。 当日の状況でございますが、いろいろとご意見を頂きました。事前に当日の会議録を送付させて頂き、本日もお手元にもお配りをさせて頂いておりますので、詳細は省略をさせて頂きたいと思っておりますが、全体的なご意見としては本基本計画に対する賛成の意見は無かったという状況でございました。 ご意見としては、学校統廃合の対象となるお子さんの保護者の不安あるいは心配、また地域から学校が無くなると益々地域が廃れるのではないかと等々のご意見を頂いたところ		

です。また、上城井小学校と下城井小学校については、学校を存続させてほしいというご意見も頂いたところでございます。

また、築城中学校区部会につきましては、築城中学校の見学についてご意見を頂きましたので、年が明けまして1月30日と2月10日を予備日として築城中学校区の委員の皆さまによる築城中学校の見学を実施したところでございます。

続いて、翌週12月25日に開催致しました椎田中学校区部会につきましては、27名の委員のうち21名の委員の皆さまに御出席を頂いたところでございます。

椎田中学校区部会につきましては、意見交換の前に、現在計画をしております、椎田地区小中学校地域コミュニティ一体型校の現時点での設計内容の御報告をさせて頂いたところでございます。その後、基本計画に係る意見交換を行ったところでございますが、全体的なご意見として委員の皆さまから反対のご意見はございませんでした。

ご意見の内容としては、椎田中学校や椎田小学校をはじめ、八津田小学校以外の小学校の老朽化が著しいということで、早急に新しい学校を建設して、子ども達を安心安全な学校に通わせたいというようなご意見、また小中一貫校になることに対する保護者の不安や課題、廃校になった学校の跡地利用等について、できるだけ早期に具体的に示してほしいというご意見を頂き、その後、各学校単位でご意見を頂きました。中学校区部会の報告については以上でございます。

## 5. 「学校再編」について

座長

次第5、「学校再編」についても、学校教育課から説明をお願いします。

学校教育課長

学校教育課の鍛冶でございます。築上町立小中学校適正配置基本計画における学校再編について、先日の中学校区部会と重複する部分もあろうかと存じますが、本日は各学校の委員の皆さまからこの基本計画に対する最終的なご意見を頂きたいというふうに考えているところでございます。教育委員会としましては、本日の検討会議でのご意見を踏まえ、教育委員に最終的な方針について御協議を頂き、併せて、総合教育会議を通じて町長との意見交換を行っていきたいと考えているところでございます。今後のスケジュールと致しましては、3月末までに教育委員会での協議、総合教育会議での意見交換等を踏まえ、最終的な方針ということで、実施計画を取りまとめたいと考えているところでございます。実施計画については、来年度4月以降、速やかに公表していきたいと考えているところでございますので、本日はどうぞよろしくお願い致します。

座長

次第4 中学校区部会ならび次第5 学校再編について、説明がございました。これについて、各校区の代表者の方にご意見を述べて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。それでは、最初に椎田小学校区から。

委員 A

中学校区部会と同じようなことかと思えますけど、先日、椎田小学校で、地域のひと6年生で2分間ずつぐるぐる回って、「100万円もらったらどうしますか」とか「愛とは何ですか」というような質問や話をする、しゃべり場というものがございます。そういう教育、私達が子どものときは無かったなど。そういった中で、自分が思っていることを発言できる能力というんですかね。これからはやはり自分の意見をどんどん伸ばしていける、大人をも説得できるような子どもを育てなきゃいけないなど。それとともに、子ども

達がしっかりと自分の意見を持っていて感心しました。これからは、やはりそういった教育が必要なんだなと思っております。それから新しい学校の模型ができておりました。椎田中学校区はそこまで進んでいるなら、早く、教育内容や校歌等についての協議をすべきじゃないかと。令和9年までもう時間がないんじゃないかと思えます。もう少子化というのはこれから日本全国が一番大きな課題だと思っています。その中で、これから社会に役立つ、世界に羽ばたいていくような子ども達をどう育てていくのかなというのが課題だと思っています。私達が子どもの頃は東京に出ていけばいいだけだったんだけど、これからは世界に対応できる小学校教育、基礎教育を早めからしていくべきだなと思えます。それと、これは地元の区会があったときに皆さんの意見を聞いたら、心配しているのが跡地の問題ですね。それと、子ども達の通学はどうするのか。こういった部分をやはり解消して頂きたいと。通学環境の整備なども早くからしないとですね。それから、どこまで児童生徒達の教育保障をしていくのか。こういったことの検討が早めにされるべきじゃないかと。地元としてはそういう意見でございますのでよろしくお願い申し上げます。

座長 それでは、続いて、八津田小学校区の代表の方、お願いします。

委員 B 八津田小学校区につきましては、12月25日の椎田中学校区部会で発言した内容以外にその後、新しいことというのはありませんので、その会議録のとおりということでございます。以上です。

座長 それでは、続いて、葛城小学校区の代表の方、お願いします。

委員 C 葛城小学校区としても、これまで基本計画で記されたことに対して概ね賛成というところですが、今後、先ほどもお話にあったように、問題点の検討を時間のない中で進めていかないといけないので、よろしくお願いしたいと思います。以上です。

座長 それでは、続いて、西角田小学校区の代表の方、お願いします。

委員 D 1月21日に開催された学校運営協議会中で、12月25日の中学校区部会で話された内容と皆さんの意見をあらかじめ伝えましたが伝えました。特に反対する委員はいません。どちらかといえば、早くという方向です。ただ、やはり遠距離になりますので、インフラ、バス通学。それから、クラブ活動をするときの時間差をどう解消できるのなどの話は出ております。それと、昨日、西角田小学校では伝統になっています竹太鼓。これを新しくしようということで、学校と学校運営協議会、PTA、地域の方、含めて13人で行ったんですが、その竹を提供してくださった方、切り出しを加勢してくれた方がいて、西角田小学校は、学校と保護者と地域が正三角形でいい関係を築いているという最大の財産があります。学校が統合された後にそういう関係をいかに持続させていくか、その辺も含めていろいろと協議して頂きたいと思えます。以上です。

座長 それでは、続いて、小原小学校区の代表の方、お願いします。

委員 E 二つだけお願いがあるんですけど、一つは跡地利用について、自治会とみんなで話して

案が出たときの協力を全面的にしてほしいと思っております。

もう一つが、小原小学校はご存じのように、今11人ですけど、真如寺地区は児童がおりません。全て小原地区から通っております。町長は以前、10人を切ったら廃校を考えると話でしたので、私達も10人を切らないようにいろいろ頑張っておりますけど、学校再編の話が出ましたので、1日でも早く新しい学校に通わせてあげたいなと思っております。そうしないと、1年経って、2年経っていきますとだんだん児童が少なくなってきました。児童数によって、先生や事務員の人数は何人ですよというのが多分あると思います。先生が5人のところを7人にしてくれとは言いませんけど、学校再編まで縛りをなくして面倒見て頂きたいなと思っております。早くしないと小原小学校は児童がいなくなってしまうような感じですので、よろしく願います。

座長

それでは、続いて、椎田中学校区の代表の方、願います。

委員 F

前回とほとんど変わらないんですけど、学校の老朽化で雨漏りがして、応急処置しかできないので、早く建て替えてほしいというのがPTAや学校の思いです。ただ、廃校になると地域との交流が無くなるというのはどの学校もそうじゃないかなと思います。昨日、今日と上城井のほうで智恵の文殊大祭がありまして、2日間行かせてもらったんですけど、地域の皆さんが子ども達のエネルギーをもらって、まだ続けられないかと言って頑張っているということを聞きました。ただ、現状は自然消滅して人数の少ない小学校からだんだん無くなっていきます。それを待つんじゃなくて、統合して新たな体制で各地域との交流を今以上に深めていくようにしていただければと思います。早い統合を期待しています。以上です。

座長

それでは、椎田中学校区の保育園の代表の方、願います。

委員 G

特に新しい意見はありません。以上です。

座長

それでは、築城小学校区の代表の方、願う致します。

委員 H

2月16日に築城小学校学校運営協議会の臨時会を開催致しました。11名中、9名の委員が出席し、大きく5つを取りまとめました。

一つ目、適正配置基本計画のとおり、令和9年度に築城小学校、上城井小学校、下城井小学校が再編されることについて、異議はありません。

二つ目、子ども達が育っていく10年、20年後を考え、予測困難で変化に激しい時代をその変化に対応しながら生きていくためには、小学校の段階から多様な人と関わり合い、協働して学ぶことができる環境が必要ではないか。

三つ目、再編に伴う子ども達や保護者の不安解消のため、再編前から子ども達同士が共同で体験学習を行ったり、保護者の学校見学等を行ったりしてはどうだろうか。

四つ目、上城井小学校区、下城井小学校区の方の再編に対する具体的な意見や再編に当たった課題、不明な点などを明らかにした上で、築城小学校区及び教育委員会とともに一つ一つ解決に向けた議論を行ったほうがよいのではないだろうか。

五つ目、築城小学校、上城井小学校、下城井小学校の子ども達にとって、より良い学び

を進めることができるよう、早く諸問題を解決し、教育内容の検討をしていきたい。という  
ことで、築城小学校の学校運営協議会としては取りまとめを致しました。以上です。

座長

それでは、続いて、下城井小学校区の代表の方、お願いします。

委員 I

下城井小学校区は、やっぱり同意はできないということです。小中一貫校の形式として、  
施設一体型と施設分離型があると思うんですが、できれば施設分離型でもいいから残して  
ほしいということです。以上です。

座長

それでは、続いて、上城井小学校区の代表の方、お願いします。

委員 J

2月15日に学校運営協議会臨時会を開きました。その際には、小学校の保護者、保育  
園の保護者、そういった方々のアンケートも参考にしながら協議した結果、地域の課題と  
いいますか、上城井地区は地域全体で子ども達を育てるといような形が進んでおりま  
す。そういった中で上城井地区や城井谷から子ども達の声が無くならないよう、学校を存  
続してもらいたいということです。できればというよりも是非とも、小規模特認校として  
の存続をお願いしますということでございました。様々な活動を通じて子ども達の生き生  
きとした姿を見て、地域の皆さま方、お年寄りもしっかりと地域活性化、そういったこと  
を見据えて頑張っておられます。是非とも残して頂きたいという結果になりましたので、  
よろしくをお願いします。

座長

それでは、続いて、築城中学校区の代表の方、お願いします。

委員 K

学校運営協議会で話した内容の概略について御報告させていただきます。

まず、令和9年度から施設分離型の小中一貫教育が始まるわけですがけれども、現実的  
には令和14年度以降の施設一体型の小中一貫教育というところが節目になってくるかと  
考えておまして、この場合、やはり施設設備が賄えるであろうかという不安が出ており  
ます。あとは、教育内容もですけど、小学生の保護者の方、それから子ども達が安全安心  
に登校できるよう、学校施設を整えていってほしいという要望等がありましたが、特段、  
この基本計画について反対というような意見は出ておりません。以上です。

座長

それでは、築城中学校区の保育園の代表の方、お願いします。

委員 L

下城井小学校、上城井小学校ともに存続を望まれているということで、その考えという  
ものは変わらないかなとは思っています。上城井小学校は、保育園ともすごく連携を取り  
ながら、地域の特産品のクワイモの活動に保育園も関わらせて頂いて、保育園の給食のメ  
ニューにクワイモが出てきて、地域で育てている特産物に関して子ども達、地域みんなが  
クワイモを愛しているというすごく温かい雰囲気、今年はクワイモの活動が地域一丸と  
なってきたかなと思っております。

本当に意見としてちょっと言わせて頂きたいんですけど、今年1年。知れば知るほど、  
こういった地域に密着した教育というものがすごく重要だと実感させてもらいました。こ  
のクワイモの活動は、もちろん地域の方々にご支援は頂いていますけども、子ども達が作

ってきたものなんですよね。子ども達がこうしたい、もっとキクイモを有名にしたいという強い思いがあるからこそできたこと、毎年できている活動だと思います。小学校に関して、私は保育園の園長の意見としても思うことがありまして、子どもは小学校までは養護的な、一人一人が丁寧に育ててもらえる環境が必要だと思っております。上城井小学校では子ども達の個性がしっかりと認められていますので、子ども達自身が自分の意見をしっかり持っています。卒業した子ども達も中学校で生徒会に入っています。小規模校で育ったからといって物おじすることはありません。上城井小学校の中でもそうですけど、地域の一員として活動しているんだなとすごく思いました。子ども達が議会見学に行った際には、築上町のインタビューボードにキクイモの写真が載っていないのを見て、どうしたらこのインタビューボードにキクイモを載せられるんだろうと、そういう声が子ども達から出たんですよ。そこから、どうしたらもっとキクイモが有名になるのかと、子ども達からいろんな案が出てきます。16人しか児童はいませんが、今は情報化社会です。多様な意見、少人数でも情報を集められるんですよね。その中で、よりみんなに伝わりやすいキクイモのCMづくり。普通の学校だったらみんなでキクイモのCMをつくるってなかなかできないことだと思います。小規模学校だからこそ、みんなでCMをつくるような技術も習得できた。本当に、小規模だからこそ質の高い教育をさせて頂いていると思います。もちろん、現実的に財政状況というのもあると思います。ただ、やっぱり子どもの保護者、保育園の園長、地域の子供達を見た中で何を大切にしなければいけないのかということは、子ども達一人一人が羽ばたけるように、主体となることができる子ども達が育つ教育が私は大切だと思っておりますので、上城井小学校は小規模校としてとてもいい活動をされていると思います。やっぱり、そういったものを保っていくことが教育だと本当に思います。財政も大切なことかもしれませんが、どういった子どもに育ててほしいか、本当に上城井の子ども達は立派に自分の意見を持って育っています。子ども達が何よりも大切、町長も子ども達の意見というものも集めなければならないとおっしゃっていましたが、それに関して今後どうしていくのか、またお話し聞かせていただけたらいいなと思っております。以上です。

座長

大変貴重な意見を頂きました。ありがとうございます。ここで、委員Mさんのほうからも意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

委員 M

今回の学校再編問題、これはPTAの再編問題でもあるかなと思っています。今、PTAの課題として、役員のなり手不足であったり、任意加入の問題でPTAは団体としての存続が危ぶまれているというところがあります。その中で、じゃあPTA活動をしたいけど会員がいない、何もできない。PTAとしての活動をどうするのかといったときに、PTAとしてもある一定の規模を維持しないといけない。そうすれば、子ども達のことを考えるときには必ずしも学校が一つになっていくことに関しては悪いことではないというふうにも思っております。もう一つは、学校のクラス数、規模という視点に立ったときに、コミュニティ・スクール、地域とともにある学校づくりという言葉もありますが、一方で学校を核とした地域づくりという言葉もあります。要は、地域の活性化のためには学校がないといけない。学校をまず一つの起爆剤として地域を存続していきましようという考え方もありますが、じゃあ学校がないと地域が活性化しないのかという視点に立ったときに、これはアイデア次第でカバーできることだろうというふうに私は思っておりますので、

椎田中学校区、築城中学校区でいろんな意見が出ましたが、前回の椎田中学校区部会のと  
きに私も意見言わせてもらったんですけど、なぜ、同じ築上町で、中学校区で、これだけ  
の意見に温度差が出るのだろうか。そこが、私として非常に疑問に思っているところで  
ございます。以上です。

座長

ありがとうございました。その他ご意見がございましたら、お願い致します。

委員 N

第1回目の時、スタートが違うと言ったんですが、椎田中校区のほうはもう議会でも通  
っていますし、何も言うことは特段ありません。ただ、今言っておかないと後々自分でも  
後悔するんじゃないかと思ひまして、この基本計画、総合教育会議の中で財政面のことを  
言われていましたが、築城小学校と八津田小学校は経過年数あまり変わりません。築城小  
学校は、耐震の改修工事とかで建替えでは無かったですけど、八津田小学校は建て替えま  
した。今、周りのフェンスまで新しくなっています。15億ですか、築城中学校も15億  
で建て替わっていますが、講堂、武道場とかは古いままです。私、最初に小中一貫校は9  
0億がどうのこうのという予算を聞いていて、学校教育ばかりにお金をかけるわけにはい  
けないということで、それが60億になったとかいうのを聞いたんです。八津田小学校に  
せよ、築城中学校にせよ、15億。最初に90億という金額が出たときに、どんな学校を  
建てるのかなど。今60億になって、それにしてもすごい金額だなどと思っています。前回、  
築城中学校に見学に行ったとき、今、築城中学校はゆとりがとってもある学校です。だけ  
ど、そこに小学生が入る。人数的には入るかもしれませんが、小学生を今現在の築城中  
学校に入れたら、それはゆとりがない小中学校になります。それに比べ、八津田小学校、今  
度建てる椎田小中一貫校、それはどちらとも本当にゆとりのある学校ができると思いま  
す。だから、椎田中学校区のほうは反対もないし、早く建ててくださいというそういうよ  
うな意見がほとんどになるんだと思いますけど、寒田小学校は築城駅から11キロくらい  
です。他の町の様子を聞いたら、スクールバスとかは土日とかは出ません。部活とかは、  
そういうのは出ません。何か急なことがあってもスクールバス出ません。全部、保護者の  
送迎になります。そういうような声も聞きます。本当に子ども達のことを考えたら、何が  
大切なのか。やはり、私はある程度のゆとりが必要だと思います。数の問題だけではない  
と思います。小中一貫校にすることによって、周りから見たら、あそこにやりたいとかい  
うようなそういうような声が出るというようなことを、教育委員会の方が発言されていま  
したけど、そうでしょうか。もう、椎田中学校区のほうは小中一貫校でやります、それで  
いいと思います。だけど、築城中学校区部会の会議録を読んでもらったら分かると思いま  
すけど、下城井小学校には大人数の学校には行けない子が来ている。その子達は下城井  
小学校の人数の中でも、もがいています。八津田小学校を小規模特認校にするって言われ  
ていますが、それはただ建物が新しくなったからそれを残すための小規模特認校じゃ  
ないですか。八津田小学校は百三十何人いるでしょう。じゃあ、その大人数の中では生  
活できない、学習できない子は、どこに行くんですか。もう八津田小学校は、そのまま現  
在の小規模特認校とされなくて八津田小学校で残したらいいんじゃないですか。後から再  
編するんでしょう、八津田小学校は。今、計画出ているじゃないですか。築城地区のほう  
に行ってもいい、椎田小中一貫校に行ってもいい。それでいいと思います。だけど、築城  
地区のほうは、総合教育会議の中の発言じゃないですけど、椎田地区を小中一貫校にする  
から、いっその際、築城地区のほうも一緒にする。そういうところから、この大切な子

ども達を育てる学校現場、学校再編をしてほしくないです。本当に下城井小学校は困っています。この計画が出て、保護者の中に、もうこの際、築城小学校にやろうと、そういう保護者が何人も出ています。出ていく者が15人、入ってくる者が15人。プラスマイナス15人だからとんとん。そんなことじゃないんです。下城井小学校区で築城小学校を希望されている方はどんな理由を出して許可が通ったのかなと私はいつも思います。だから前回、教育委員会の責任は重大ですと言ったんです。だけど、この会議録を読んでも教育長の回答はそれに対する回答ではありませんでした。築城中学校の見学の時に、この全体会議で、椎田中学校区部会でスクリーンに映されたものを築城中学校区の人に見せて、築城中学校の現状を椎田中学校区の人に見せて、築城中学校に小学生が入ったときのことを想像してもらってくださいと希望しましたが、今日そういうものはありません。本当に、椎田中学校区と築城中学校区、学校間格差すごいものがある。教育整備面、すごいものができると思います。それを、皆さんどのように受け取っておられるのか。そういう意見も、ぜひこの会議ですべきじゃないかなと思います。以上です。

町長

八津田小学校と椎田中学校の建設計画は耐震問題です。それから椎田小学校と椎田中学校を施設一体型校でという形の中で、椎田中学校区にある学校も再編してはどうか、八津田小学校は小規模特認校で、という話です。事業費についても金額は非常に偏っていると思いますけれど、椎田中学校、椎田小学校、西角田小学校、葛城小学校、小原小学校、全部を建替えれば60億は絶対に必要という試算。90億というのは、新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業の中で出てきた、ある種、架空的な事業費で、これは駄目だということで60億というのが現実でございます。そのところ、ちょっと誤解されているようでございますけれど、とにかく建替えというのは耐震から始まってきたということでご理解頂きたいと思います。以上でございます。

座長

ありがとうございました。それでは、その他にご意見ある方がおりましたらお願い致します。特にございませんか。〔「なし」と呼ぶ者あり〕無いようですので、事務局にお返しします。

教育長

本日は、それぞれの校区で再度話し合いを持って頂いた上で、会議に臨んで頂きまして、本当にありがとうございました。いろんな意見を出して頂きました。検討会議のほうはこの2回をもって終わらせて頂きますが、皆さまから頂いた意見を真摯に受け止め、これから教育委員会会議、総合教育会議で慎重に協議、検討を深めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

## 7. その他

## 8. 閉会

午後7時10分閉会